



浅井 葉子 議員

## 子どもの医療費

### 助成制度の拡充を

**質** 浅井議員

当市では、医療費無料制度が小学6年生まで実施されており、県内の他市と比べて支援が一番進んでいる

と思います。

また、高齢者・障害者の福祉事業も充実しており、農業に関する土地改良事業やその他の補助事業も、旧



▲診療を受ける児童

十四山村と比べ格段上の補助が行われています。

現在、全国的に少子化が進んでいますが、若い夫婦は子どもの笑顔に励まされながら、仕事や子育てを懸命に頑張っています。

子どもの医療費無料化は、安心して子どもを産み育てられる環境をつくる上でも重要な役割を果たし、少子化対策としても大変重要な施策だと思っています。

子育て世代にとって、子どもの医療費の負担は切実な問題であり、子どもが病気になったときに無料で医療機関にかかれるようにとの願いは切実です。

当市の次世代を担う子どもたちが、安心して早期に病気を治すことができるよう、子どもの医療費助成制度を拡充する考えはありませんか。

### 新年度予算の中で 延長を検討したい

**答** 川瀬市長

当市では、乳幼児等医療費助成制度を重要施策の一つとして、心の通う子育て支援を実施してきました。

過去には、13年度の医療費無料化制度の拡大（3歳未満児までを4歳未満児までに）をはじめとし、14年度・15年度・16年度と制度を拡大し、常に県内の市町村をリードしてきました。

現在では、中学校入学前まで拡大し、県内市町村においても高水準であり、県内35市の中では最高の助成制度となっています。

乳幼児等医療費助成制度のさらなる拡充については、少子化対策として、子どもたちの健全な心身の発育や子育てを支援し、若いご夫婦の経済的な負担を少しでも緩和できるよう、新年度予算の中で再度延長を検討したいと考えています。

※9月20日の本会議で制度拡大の議案が提出されました。

【関連記事6ページ】